



① 洗車



カーシャンプーで汚れを落とし、鉄粉が付いている場合鉄粉除去剤、粘土状クリーナーで取り除きます。



その後、水分をエアガン等で取り除きます。
しっかりとした乾燥の為に1日車両を預かるのがベスト！

※炎天下やボディが熱い状態、また気温が0度以下の施工はお避けください。

② プライマー



プライマー専用クロスにプライマーを垂らし、パネルごとに塗ってください。

※プライマー専用クロスは推奨クロスです。キズの付きにくい、キレイなクロスであれば他クロスでも、特に問題ありません。



塗布したプライマーが乾く前に、もう一枚のキレイなクロスで拭き上げてください。(その際軽く拭き取る形で。揮発性が高い為、自然乾燥も利用します)

使用するもの X-Dプライマー、クロス
クロスは使用後洗浄、再使用可、4～5台くらい

③コーティング



コーティング塗布前に、プライマーの残りがいないかチェック。あればクロスにて拭き取ります。

X D主剤に硬化剤を全量入れ、穴開き中栓とキャップをしてよく振って下さい。



X D専用パッドに施工液を隅々までたっぷり含ませます。

※液が少ないとボディ塗布時に、すぐに乾いてムラの原因になります。液が垂れない程度に染み込ませて下さい。



パネル全体に万遍なく、塗り残しやみ出しがないように均一に塗布していきます。

大型車でボンネットが大きい車は、半分で都度、液を足してください。(ヘッドライト、メッキ部分可)

※夏場はボンネット、左右フェンダー(約3パネル)で一旦パッドを置いて、拭き取りクロスに持ち替えます。冬場は約6~7パネルぐらいでパッドを置いて下さい。



塗布後白くなっていきます。(雰囲気温度や風の流れによって時間は変動します)

濡れタオルで拭いたような筋が見えてきたら拭き頃です。同パネルで少しまだ濡れている所があっても、7割以上筋に変わっていれば拭き取りを開始して下さい。



乾拭きはクロス2枚を使い、1枚目は大きいストロークで、続いて2枚目のクロスで小さいストロークで拭き取ります。サクサク感のある拭き取りで、力を入れる必要はありません。光沢が出れば完了です。

※施工後よりツルツル感があり、時間経過と共にどんどん増していきます！

使用するもの

X D主剤、硬化剤、パッド、クロス2枚